

第6回龍郷町子ども博物学士講座

～平家伝説の地を探検しよう～



第6回子ども博物学士講座は「平家伝説の地を探検しよう」と題し、教育委員会学芸員の松村智行さんを講師として、2月4日(土)に行盛神社(戸口)と今井大権現(安木屋場)にて実施しました。

講師の松村さんは、奄美大島や喜界島には壇ノ浦の戦いの後、源氏に敗れた平資盛、有盛、行盛が逃げ延び城を築いたとされ、上戸口集落には行盛神社と墓碑が残っていることや、安木屋場集落の今井崎では源氏の追手の見張り番として今井権太夫が任命されていたが、ある日、連絡を怠り、行盛は源氏が攻めてきたと勘違いし自害したことが説明されました。講座に参加した秋名小2年の楠元 杏さんは「今井大権現の階段のぼりはきつかったけれど、神社のまわりを3回まわって願いがかなうと聞いたのでかなってほしいです。行盛さんのために墓をいつもきれいにしておいと思いました」と感想を述べました。講座の最後に松村さんは「行盛は農業や漁業などを集落の人たちに教えたとされ、今でも住民の方々が花を添えて大切に祀っています。もっともっと色々な歴史を知りたい方はりゅうがく館展示室に是非来てください」と語りかけました。次回の講座は3月11日(土)奄美少年自然の家の方々のテイチギ染め及び閉講式(研究発表)をりゅうがく館にて予定していますので、たくさんの参加をお待ちしております。

参加者(計80名: 児童48名・保護者29名・未就学3名)